



おもな仕様

形 式	相数	定格出力 (W)	極数	電圧(V)	周波数(c/s)	回転数(r/m)
CLMG-KT	単相	200	2	100	50/60	2,890/3,460
		200	4	100	50/60	1,440/1,730
CLMG-K	三相	200	2	200	50/60	2,850/3,380
		200	4	200	50/60	1,440/1,730

大同製鋼株式会社納

グリップチルト (材料回転装置) 完成

このほど日立製作所では、特殊鋼圧延設備のオートメーション化に大きな偉力を発揮するグリップチルトを完成し、このほど大同製鋼株式会社に納入した。

普通鋼では、単一品種で生産量が多いので、圧延スケジュールも固定化されて、固定式自動回転装置などにより鋼片の転回が可能となり、圧延設備のオートメーション化もできるが、特殊鋼圧延の場合は多品種の少量生産で、かつダイヤモンドパスあるいはオーバルパスなど複雑な操作が多いため、鋼片起し作業だけは手作業に限定されていた。

このたび日立製作所で大同製鋼株式会社に納めたものは、線材圧延設備に本装置の操作を全部油圧による遠隔操作とし、任意の位置で鋼片をグリップしながら、上下走行が同時にできるもので、熱間圧延に要求される短時間操作が可能である。

おもな特長

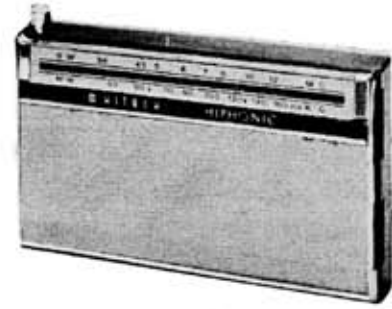
- (1) 手作業では、大きい鋼塊を使用することができなかったが、機械化することにより大きい鋼塊からの圧延が可能となり歩留りが向上し、コストダウンできる。
- (2) 機械化により、運転員だけで遠隔操作が可能となり、高熱、重労働からの解放と、操作員の大幅な削減ができる。
- (3) かみ込み時における鋼片のしりはねなどによる危険作業から操作員を解放できるなど、設備の合理化に大きな進歩をもたらすものである。

おもな仕様

取 扱 材 料	60φ×20 ml~150φ×5 ml
	150×200~60×100(オーバル)
グリップおよびターナ	油圧式
転 回	45°~90°
回転速度	90°/2 s
グリップローリフト	油圧式
リフト量	150 mm
リフト速度	0.5 m/s
移 送	油圧式
ストローク	1,550 mm
速 度	0.5 m/s



第19図 大同製鋼株式会社納 グリップチルト



第20図 ポータブルラジオ“ハイフォニック”WH-858

高感度8石2バンドポータブルラジオ
ハイフォニック WH-858 発売

行楽シーズンを迎えてポータブルラジオの需要増が見込まれている。日立製作所では、この需要期に高感度で手ごろな価格の8石2バンドポータブル“ハイフォニック”WH-858を発売した。

本機はポータブルで最も普及性の高い8石の標準タイプに、ファインチューニング(微同調)や音質調節装置を具備した高級設計になっており、ホームラジオとしても十分な豊かなシンフォニックトーンが楽しめる。

現金正価8,300円、月賦正価8,800円(12箇月払い)、皮ケース、イヤホン、日立乾電池が付属している。

おもな特長

- (1) 高感度、低雑音で定評のある「日立ドリフト・トランジスタ」を2石、さらに10φ×160 mmの超大形フェライトアンテナを使用しているため、少々離れた地域でも楽に受信できる。
- (2) 小形で歯切れのよい音の6.5 cm PM スピーカと最大出力280 mWの豊かな音量、さらにバッフル効果を十二分に生かしたキャビネットの働きで、美しいシンフォニックトーンが楽しめる。
- (3) 「高音強調」、「低音強調」の2段音質切替装置つき。
- (4) 短波の受信範囲を40倍に拡大して希望の放送を簡単に選り出す“ファインチューニング”つき。
- (5) 電池の入れ替えは、裏ぶたの一部を開閉するだけで簡単にできる専用の電池ケースつき。
- (6) 取扱説明書はすべてセットの側面にまとめてあり、操作がきわめて簡単である。
- (7) キャビネットはポリスチロール製で、「ベージュ」と「ブラック」の2色がある。

おもな規格

回路方式	8石2バンドスーパーヘテロダイン
受信周波数	SW 3.8~12 Mc MW 530~1,605 kc
最大感度	約33 dB
使用石	トランジスタ8石 ダイオード1石 サーミスタ1石
出 力	280 mW(最大) 180 mW(無ひずみ)
電 源	6V(日立乾電池UM-3A 4個)
スピーカ	6.5 cm PM 形
イヤホン	1個付属(2個使用可能)
アンテナ	フェライトアンテナ内蔵ロッドアンテナ組込
外形寸法	幅172×高さ100×奥行44 mm
重 量	590 g(日立乾電池とも)

FM 付きの小形2バンドポータブルラジオ
ハイフォニック KH-960 発売

日立製作所では、FM放送を手軽に楽しめる小形のFM付きポ



ダブルラジオ“ハイフニック KH-960”を完成し、このほど発売を開始した。

本機は、9石トランジスタの高感度形で、従来のAM専用のポータブルの8石なみに小形化されており、FMのほかにも普通の放送も美しいシンフォニックトーンで楽しむことができる。

現金正価 10,000円、月賦正価 10,600円(12箇月払)で、9石のこの種セットでは最も低廉な普及価格になっている。

おもな特長

- (1) FMと中波が楽しめるFM/AM 2バンドで、このタイプでは最も小形で軽く持運びに便利である。
- (2) 使用石9石のうち5石は、超高性能を誇る日立メサ形トランジスタを使用、しかもこのメサ形には、その性能が特にすぐれ昨年12月に第15回毎日工業技術賞を受賞したドットメサ形(2SA 234, 2SA 235)が使われており、高感度で安定した受信が補償されている。
- (3) 低周波4段の高効率増幅回路を採用しており、6.5cmの強力PMスピーカーと、キャビネットのバツフル効果を生かした設計で、いちだんと豊かなシンフォニックトーンが楽しめる。
- (4) 音質切換スイッチつきで好みのトーンが楽しめる。
- (5) 同調ダイヤルの回転比を、従来の1.5倍も大きくとってあるので選局が容易である。
- (6) 首振り式のロッドアンテナ付で、セットの向きを変えないで簡単に最良の受信状態が運べる。
- (7) 最高級の山羊皮製キャリングケース付で携帯に便利である。



第21図 FMつき小形2バンドポータブルラジオ “ハイフニック KH-960”

おもな規格

回路方式	FM/AM 9石2バンドスーパーヘテロダイナ
受信周波数	FM 76~90 Mc AM 530~165 kc
使用石	トランジスタ9石(うちメサ形5石使用) ゲルマニウムダイオード3石 サーミスタ1石
出力	最大260mW 無ひずみ200mW
電源	6V (UM-3A乾電池4個)
消費電流	無信号時 FM 16mA AM 12mA
スピーカー	6.5cm PM形
イヤホン	EL-216日立マグネチック形1個付属
外形寸法	幅150mm 高さ93mm 奥行42mm
重量	550g(日立乾電池とも)

……………編集後記……………

細長いタービン翼、圧縮機翼、ニーード弁などは一変断面片持ちはりである。また、車かさ形水車発電機の扇磁機軸、モータのベルト車、タービン発電機のスリップリング軸、ある種の大形回転機の軸受部は、その支持部に集中質量を有する一種の変断面片持りである。

「変断面片持りおよび車かさ形水車発電機扇磁機軸の固有振動」では、変断面片持りの固有振動数の計算を簡便化する方法を試みている。応用例として、車かさ形水車発電機扇磁機軸の一次固有振動数を計算し、実測値と比較している。広い応用範囲をもつ片持りだけに貴重な文献資料となろう。

自動車業界のめざましい発展に伴う大形プレス需要の伸びには著しいものがある。「プレス用大容量誘導電動機」では、メカニカルプレス用高スリップ形誘導電動機の容量ならびにトルク特性の決定方法、日立製作所独特の構造、特長を有する大容量高スリップ形誘導電動機について紹介している。

ビルが大形、高層化し、エレベータが一般の足として普及するにつれ、乗客自身で簡単に操作できる全自動エレベータの需要は、増加の一途をたどっている。全自動エレベータは、数多くの電子装置を駆使してその運転の安全と能率の向上をはかっているが、これら

電子装置には、安定な動作と高い信頼度とがまず第一条件となる。「全自動エレベータに応用した電子装置」では、このたび日立製作所で完成し、各地のエレベータに使用して好評を博しているエレクトロ・ドア・セーフティをはじめ、エレクトロ・ボタンなどについて紹介している。

本号の特集は、「座席予約自動化の展望」、「MARS-101座席予約システム用リアルタイムプログラム」、「MARS-101座席予約操作プログラム」、「MARS-101座席予約中央処理装置」など9編の論文を収録し「座席予約システム特集」とした。情報の伝送系と、処理機構を一貫した体系とした画期的な意義をもつ座席予約自動処理システムMARS-101の全態を紹介したものであり、今後の座席予約システムの指針として、読者諸賢のご期待にこたえるものと信ずる。

巻頭をかざる一家一言欄には、日本国有鉄道 電気局長 湯川龍二氏より、「明日の鉄道」への歩み(座席予約自動処理システム実現の意義)と題する玉稿をいただくことができた。画期的な座席予約自動処理システム完成の意義を広い観点から掘り下げ、動力の近代化と相まって、高度な伝送系と合目的なすぐれた情報処理機構の開発、実現が明日の鉄道を約束するものであることを力強く叫ばれている。ご多用中のところ、寸暇をさいて特に本誌のためにご執筆くださったご厚情に対し、誌上をかりて深く感謝の意を表する次第である。

<p>日立評論 第46巻 第6号</p> <p>昭和39年6月20日印刷 昭和39年6月25日発行</p> <p>(毎月1回25日発行)</p> <p><禁無断転載></p> <p>定価1部150円(送料30円)</p> <p>© 1964 by Hitachi Hyoronsha Printed in Japan</p> <p>※下丁本は発行所でお取りかえいたします</p>	<p>編集兼発行人 伊 藤 康 浩</p> <p>印刷人 浅 野 浩 浩</p> <p>印刷所 株式会社日立印刷所</p> <p>発行所 日立評論社</p> <p> 東京都千代田区丸の内1丁目4番地</p> <p> 電話 東京(211)1411(大代)</p> <p> 振替口座 東京71824番</p> <p>取次店 株式会社 オーム社書店</p> <p> 東京都千代田区神田錦町3丁目1番地</p> <p> 振替口座 東京20018番 電話 東京(291)0912</p>
---	--

広告取扱店 株式会社 日盛通信社 東京都中央区銀座西7丁目3番地 電話 東京(571)5181(代)